

研究レポート No.622 岩手県農業研究センター

無コーティング種子を用いた湛水直播栽培の管理のポイント

【1 成果の概要】

無コーティング種子は苗立ち率が低いので、種子は6~8kg/10a播種します(図1、図2)。播種深が深くなると、苗立ち率が大きく低下するので、播種深が深くないように注意してください(図3)。

十分な苗立ちを確保することで、カルパーコーティング種子と同等の収量が得られます(図4)。生育ステージが1~3日程度遅くなります。

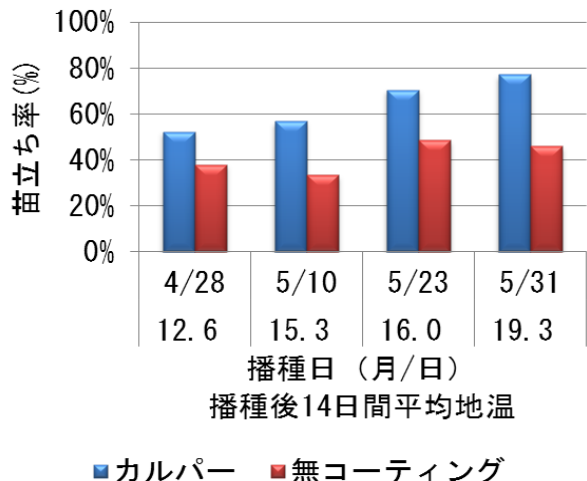


図1 苗立ち率の比較

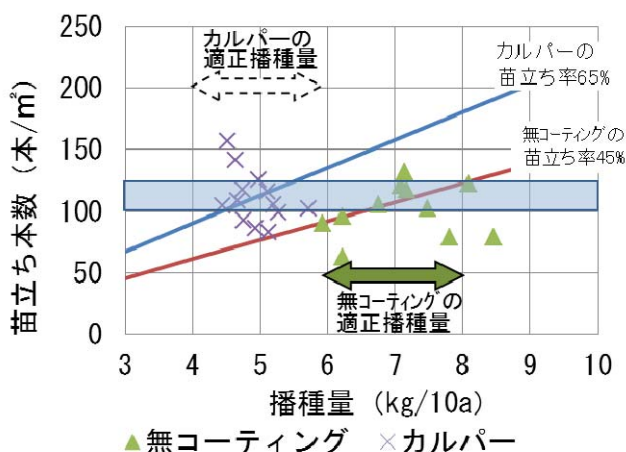


図2 播種量と苗立ち本数の関係

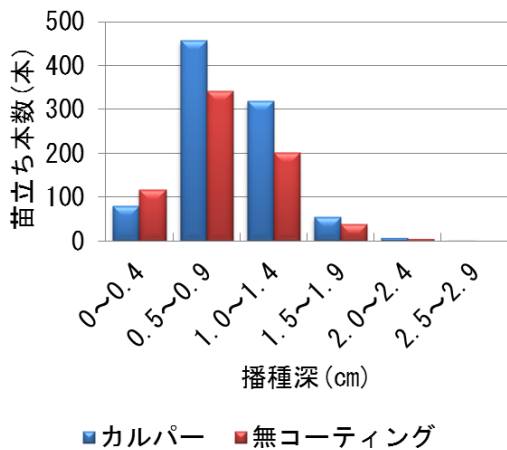


図3 播種深ごとの苗立ち本数

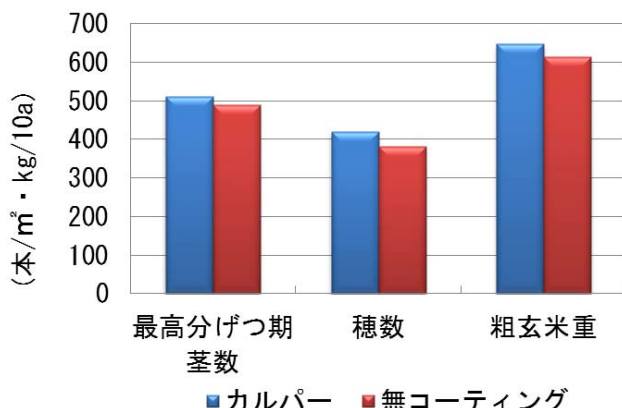


図4 生育・収量の比較

【2 留意事項】

- ・ 無コーティング種子を直播する場合は、播種後落水出芽管理を行うために、必ず作溝同時直播機等による排水対策を講じてください。
- ・ この試験は非主食用品種で行いました。主食用品種では試験を行っていません。

【3 適応対象】

- ・ 県南部の新規需要米の生産に取り組んでいる地域